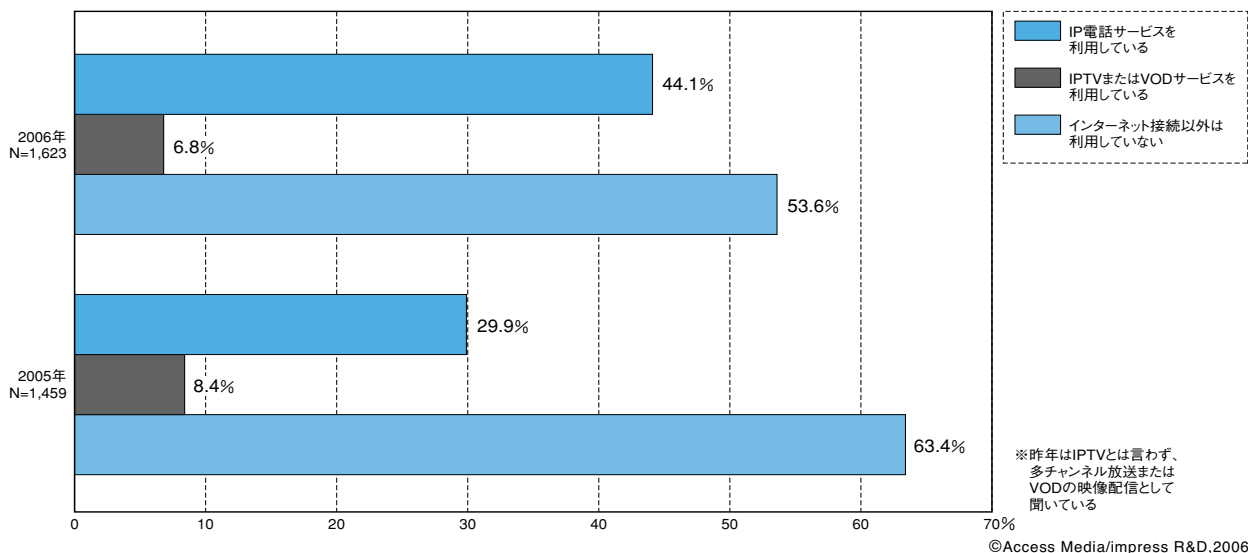


トリプルプレイ全体動向

IP電話利用が躍進の「トリプルプレイ」利用

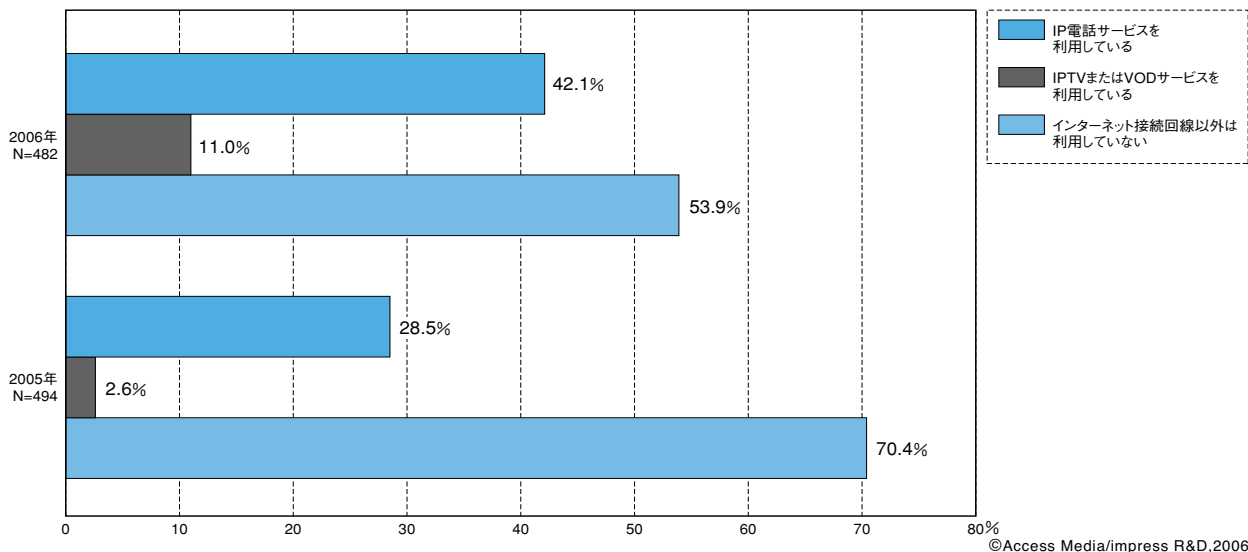
資料2-7-1 「トリプルプレイ」サービスの利用状況（複数回答）[2005年－2006年]



ブロードバンド利用者（光（FTTH）、ADSLまたはxDSL、CATV利用者）を対象として、トリプルプレイの詳細を時系列でみたものである。昨年に比べ、IP電話の利用が増加している。ブロードバンド利用者が対象であるが、これらのサービスについて「認知していない」、「わからない」と回答した利用者は除いている。なお、昨年とはサンプル対象が異なることに留意されたい。

光（FTTH）利用者のトリプルプレイサービスの利用は増加

資料2-7-2 光（FTTH）ユーザーの「トリプルプレイ」サービス利用状況（複数回答）[2005年－2006年]

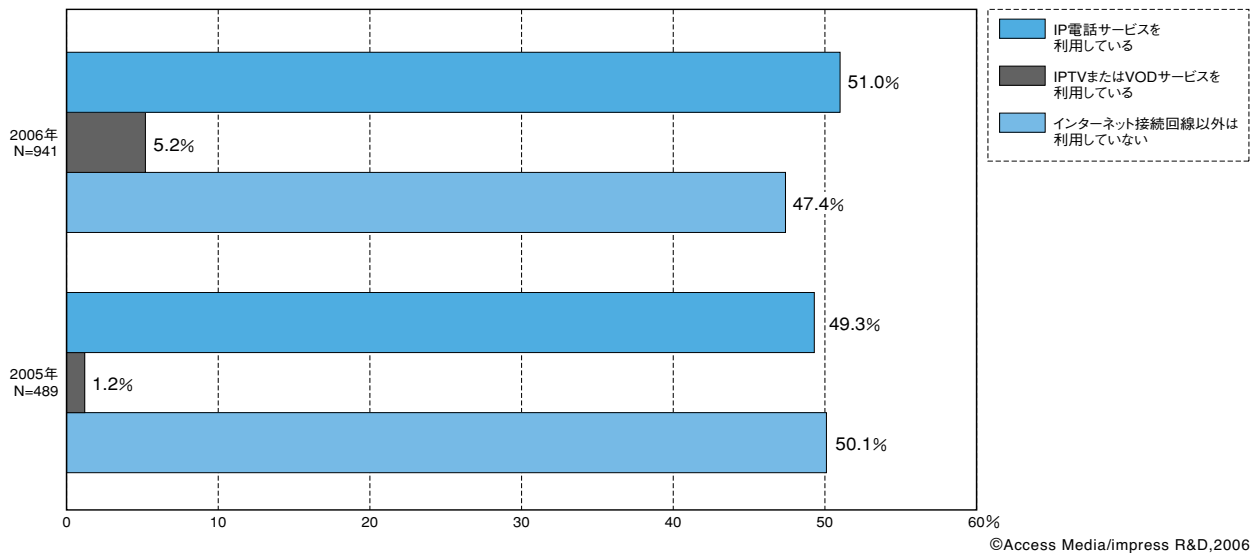


トリプルプレイサービスを認知している光（FTTH）利用者482サンプルの利用状況を昨年と比較した。高速・大容量のブロードバンド接続のメリットをうたった宣伝効果の影響からか、光（FTTH）利用者の「IP電話サービス」および「IPTVまたはVODサービス」の利用率が増加している。今後は、放送コンテンツの充実、さらにはISP、光事業者、または第3者のビデオ放送提供が利用者獲得につながると思われる。

トリプルプレイ全体動向

ADSL/xDSLユーザーの半分がIP電話を利用

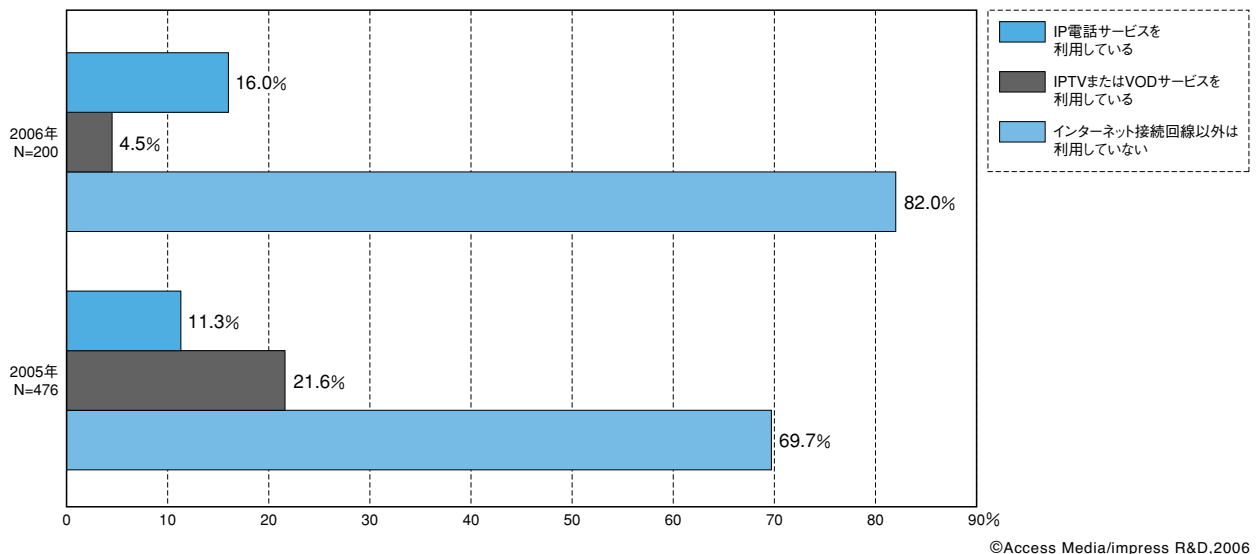
資料2-7-3 ADSLまたはxDSLユーザーの「トリプルプレイ」サービス利用状況（複数回答）[2005年－2006年]



ADSLまたはxDSL利用者のトリプルプレイサービスの利用状況であるが、2005年と2006年のサンプル数が異なるため、時系列比較は参考程度にとどめたい。ADSL利用者の過半数がIP電話サービスを利用している。ADSL利用者の速度・容量は、光（FTTH）接続回線よりも劣るためか、IPTVまたはVODサービスの利用は、5.2%と全体（6.8%）よりも若干低い。

CATV利用者のトリプルプレイはデータ通信がメイン

資料2-7-4 CATVユーザーの「トリプルプレイ」サービス利用状況（複数回答）[2005年－2006年]

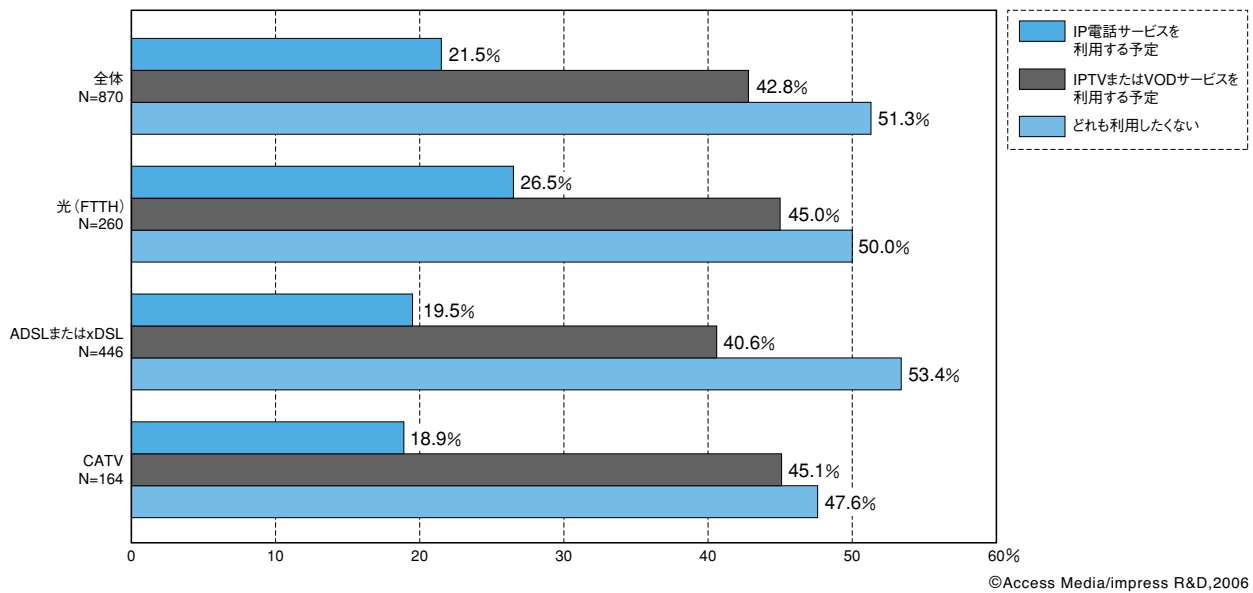


CATV利用者の今年のサンプル数が200と、2005年と比較すると半数以下であり、また昨年の質問ではIPTVではなく「映像配信」としていたことが、結果に大きく影響している。CATVインターネットは、データ通信がメインで、IP電話の利用率は低い。また、CATVはテレビ放送としてのCATV契約率が高いことから、かえってIPTVの利用はしていない（あるいは利用を認識していない）と思われる。

トリプルプレイ全体動向

非利用者のIP放送の利用意向は4割

資料2-7-5 非利用者の「トリプルプレイ」サービス利用意向（複数回答）[全体と接続回線別]



現在、データ通信のみのブロードバンド利用者870サンプルに対して、音声（IP電話）、放送（IPTVやVODサービス）の利用意向について聞いた結果である。現在利用していない回答者の過半数が今後もIP電話やIPTVまたはVODサービスの利用予定はないと回答しており、トリプルプレイ利用への関心は低い。意向予定のある回答者は、音声よりもIP放送への関心が高い。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp